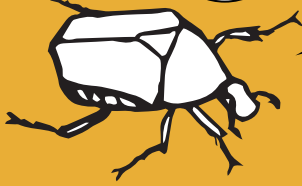


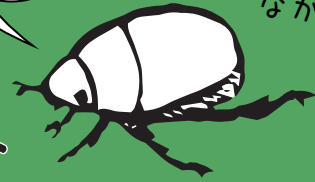
第2回ふくおかエコリサーチ

# カナブン？ コガネムシ？ どっち調査

カナブんだろ？

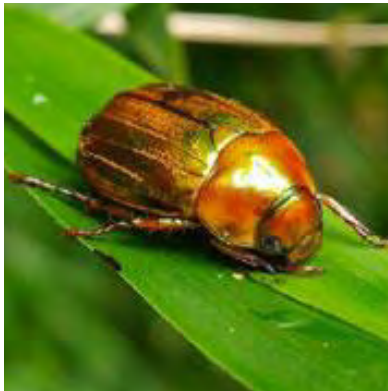


コガネムシの  
なかまだよ



## 成果レポート

2019年から、生きものの多様性についてみんなで考えるキッカケづくりとして、新たにスタートした市民参加型調査「ふくおかエコリサーチ」。2回目となる今年のテーマは、「コガネムシの仲間」でした。みんなにコガネムシの仲間を見かけたら、写真を撮って送ってもらい、福岡にどんな種類がいるのか調べてみました！



### <調査の内容>

調査期間：2020年7月8日～8月31日

調査方法：コガネムシの仲間かな？と思ったら写真と一緒に種名や見つけた場所、感想などを添えて投稿してもらいました。窓口はFacebook、Twitter、メールの3タイプ！

全部で102件の投稿（福岡県外含む）をいただきました！種類までわからないものもありましたが、今回の調査では22種類のコガネムシの仲間を見つけることができました。



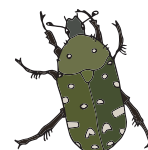
32件



33件



37件



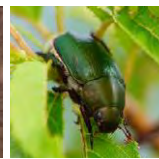
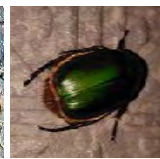
バランスいいな～！  
ありがとブンブン！

# 投稿写真

投稿していただいた写真の中から多かった順にご紹介。  
トップ3はこちら！



たっくんいたよ！  
(9歳娘)

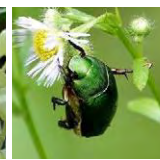
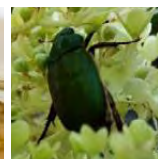
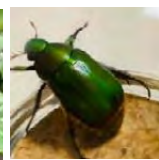


マンション  
10階で  
発見！



## アオドウガネ

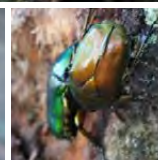
投稿数：24件



## カナブン

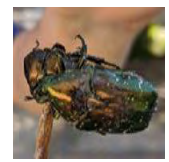
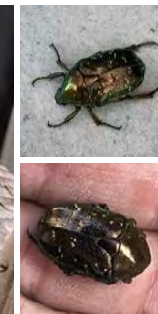
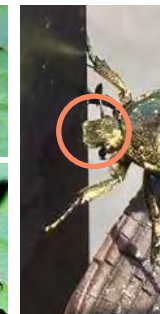
投稿数：10件

落ちたトマトの  
果汁を吸いに来た  
のかも。



## シラホシハナムグリ と シロテンハナムグリ

とてもそっくりな2種。シロテンは頭が少し凹んでいて、背中の白い模様がシラホシのように集まって大きくなならないなどの特徴があります。○印にご注目！



### シラホシハナムグリ

投稿数：4件

ランタナのは実は食べれるのかな？

### シロテンハナムグリ

投稿数：2件

### どっち？

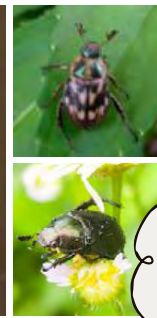
投稿数：6件

?  
?  
?  
?  
?  
?  
?  
?  
?



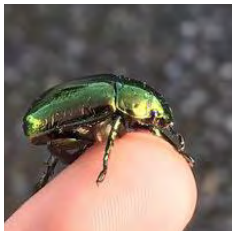
ヤマメ(魚)のお腹から発見!

マメコガネ / いつもわらわら群れてる。



真っ黒タイプ!

セマダラコガネ / 模様いろいろ。



コガネムシ / ツヤツヤの金ピカ!

海浜性昆虫で海の近くにいるよ!!



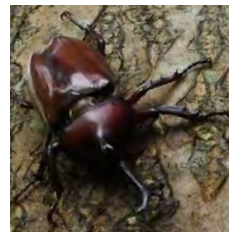
シロスジコガネ / オスの触角がカッコイイ!



クロコガネの仲間 / マットな質感。

側溝の中でジタバタしていました。脚が切れてるみたい…

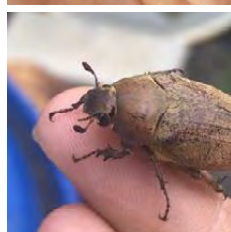
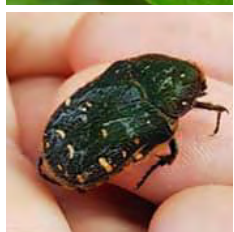
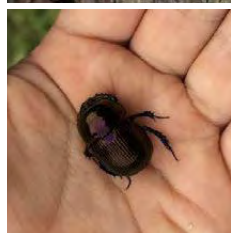
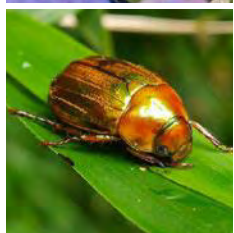
ほとんど見かけなくなったクロカナブン



樹液レストランに集まった仲間たち



枯れ木に産卵してました!



その他 様々な色・形をした仲間たち



オスガゴミミダマシの仲間

ヒメナガメ

コガネムシじゃなかった!

助けて!



昆虫採集のために設置したトラップは必ず回収しよう

トラップの中で出れずにもがいていたハナムグリ達がいそうです。観察したら、必ずトラップは回収しましょう!

## <調査を終えて>

この調査のテーマを「コガネムシの仲間」にしようと思ったキッカケ。それは、今回の調査でも一番多く見つかった「アオドウガネ」がよく「カナブン」と間違って呼ばれていることに気づいたからです。アオドウガネは家の周りからコンビニの入口、公園、校庭、山の中まで本当にいろんな場所で見かけます。その割に、正しい名前では呼ばれていることはとても少なく、名前を知っている方は結構な虫好きに限られるのかもしれませんが。実際、今回の調査の中で、「アオドウガネというんですね。こういう虫は全部コガネムシかと思ってました」「子どもの頃は全てカナブンだと思っていました」など、参加者からの感想があがっていました。「カナブン」だと思っていた虫が実は「カナブン」じゃなくて別の虫だった！という衝撃が、身近なコガネムシの仲間たちへ目を向ける入口となり、その多様性に気づいていただけたら、この調査の狙いは達成です！

また、参加者から「数十年前は、簡単に生活の中で見えていたような気がするのに、今回なかなかみつ

けられなかった。虫が減っているのかな～？」という感想もいただきました。今回の調査ではこんなにたくさん見つかった「アオドウガネ」ですが、数十年後はどうでしょうか。実は今回の調査を通し、以前から気になっていたある疑惑がさらに強まりました。以前は「アオドウガネ」とよくセットで見かけていた「ドウガネブイブイ」が1匹しか見つからなかったのです。近年、普通種と呼ばれていた種類がいつの間にか希少種になっている、というようなことがよく起こっています。地球温暖化？人の活動の影響？外来種との競合？原因はたくさんあると思います。調査は終了しましたが、今後も小さなコガネムシの仲間たちの存在を気にしていただけると幸いです。 ドウガネブイブイ



## グループごとに集計してみました！

実はカナブンもコガネムシもハナムグリもカブトムシも、大きく見れば「コガネムシ科」です。もう一つ細かい分類の「亜科」で見ると102枚の投稿画像は次のように分けられます。

- ◆ コガネムシ科スジコガネ亜科 47枚  
(アオドウガネ、コガネムシなど)
- ◆ コガネムシ科ハナムグリ亜科 35枚  
(カナブン、シロテンハナムグリなど)
- ◆ 上記以外のコガネムシ科 17枚  
(シロスジコガネ、カブトムシなど)
- ◆ コガネムシ科以外 3枚  
(ヒメナガメ、ゴミムシダマシの仲間など)

今回の調査ではコガネムシが属するスジコガネ亜科の投稿がカナブンが属するハナムグリ亜科よりも少し多かったですが、カナブンもコガネムシも意外と身近な場所にいろんな種類がいることがわかりました。

ご協力ありがとうございました！

西村 トモキさん、朝倉 南海雄さん、古賀あゆみさん、地球人(拓実)さん、大橋 日出男さん、ゆづさん、De2(でにい)@NPO、ひげさん、レインポーフィッシュさん、よんさん、品川 静さん、鎌田 隆さん、Asami Kasaiさん、ケリリリリンコさん、しおりんさん、Marijkeさん、油山市民の森さん、ニッシーさん、あつこさん、大平 裕さん、ゆ2さん、佐古田 睦美さん、海が好きさん、和田 貴美子さん、福岡市植物園さん、福田 治さん、がっちゃん@アウトドアジャンキーさん、ざりがにさん、はかた exCONTROLさん、富永 誠さん、ai aiさん、岡田さん、森じゅんさん、江藤 明代さん、田村 耕作さん、打江さん、沼田仁美さん、高城さん、中園千代里さん、辻絢子さん

「カナブン？コガネムシ？どっち調査」のWEBページは現在も公開中です。まだの方は是非覗いてみてください！



第1回ふくおかエコリサーチ「ふくおかマイマイさがし」(2019)も公開しています！



## <参考文献>

槐真史(2013)『日本の昆虫1400(2)トンボ・コウチュウ・ハチ』(文一総合出版)  
福田晴夫(2012)『増補改訂 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方』(南方新社)

ありがとう  
ブンブン！



カナブン？コガネムシ？どっち調査成果レポート 2020年12月

福岡市保健環境学習室 まもる一む福岡 電話 092-831-0669 FAX 092-831-0670

企画：NPO 法人グリーンシティ福岡